

令和3年度 第1回 旭川市手話施策推進会議【要旨】

議事1 令和2年度の取組結果

(1) 手話出前講座（資料1-1及び資料1-2）

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績は大きく減少している。
- ・平成29年度をピークに受講者数は減少しているが、受講団体数、受講回数については大きな変化は見られず、1回当たりの受講者数が減少している。
- ・受講者数の減少については、繰り返し利用している団体の受講者数が減少しているため、新規利用団体を増やす働きが必要である。
- ・令和元年度と令和2年度を比較し、増加している団体区分（民生児童委員協議会等）への周知を行っていく。
- ・アンケートの結果から、小学校などでは学芸会などで手話歌や手話劇を行うケースがあり、歌を学びたいという意見があったため、繰り返しの学習に対応する必要がある。

(2) こども手話講座（資料2-1及び資料2-2）

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績は減少している。
- ・アンケートの結果から、夏・冬・春休みでは冬休みを希望する声が多い。平成30年度は、5回とも冬休みに実施しているため、参加者が多い可能性がある。
- ・こども手話講座に関しては、アンケートも始めたばかりであり、今後も継続していくことにより、ニーズ把握に努める必要がある。

(3) 手話講習会（資料3）

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績は大きく減少している。
- ・受講者の増加については、まず初級手話講座の受講者数の増加が重要であると考えられる。
- ・周知とともに、手話出前講座でのPRなどが有効と考えられる。

(4) 令和2年度意見交換会（資料4-1及び資料4-2）

- ・アンケート結果から、【地域連携について】【Net119について】【手話について】に分類される意見が多く見られた。
- ・災害発生など緊急時の対応のあり方については、担当部局（旭川市防災安全部防災課）に対して情報提供を行うとともに、福祉部局として連携して検討を行う必要がある。

議事2 令和3年度の取組

(1)市民への手話普及の推進（資料5-1）

【新規】

・各小学校に対し、学芸会などにおいて手話を活用するため、複数回の受講を促す周知を行う。

【拡充】

・子ども向け手話リーフレット「手話ってなあに」を市内の全小学4年生に配付し、同リーフレットの活用を促していく。

(2)手話施策推進会議からの意見を踏まえた施策の推進（資料5-2）

・令和3年2月に聴取した意見について、「現状」「課題」「実施有無」「実施内容」について整理し、今後、取組を進める。

(3)令和3年度手話施策に係る意見交換会（資料5-3）

・意見交換会の実施方法、内容について提案があれば意見回答様式に記入していただき、事務局に御回答ください。

議事3 今後の取組

・令和3年度第2回手話施策推進会議は令和3年10～11月頃を予定しています。
・議事3-(3)にあります、意見交換会については、第2回会議までの間に審議する内容があれば、別途書面にて通知いたしますので、御了承ください。